

十勝圏複合事務組合中間処理施設整備・運営事業 技術提案概要

たつグループ

※入札時の提案概要であり、今後実施設計を進める中で内容が変更になることがあることに留意

1 | 施設コンセプトとパース

十勝の誇る雄大かつ繊細な自然と調和し、地域の皆様から信頼され、愛される、**ゼロカーボン十勝**の未来を共に築き上げていく施設建設・運営を行います。



2 | 提案コンセプト

貴組合の実施方針や基本計画を踏まえ策定した、独自の5つの基本方針にもとづき、地域に貢献する安定した施設運営を行います。

1. 火災、災害に強く、安心・安定な施設

- 独自の火災検知と予防、迅速な初期消火による延焼防止
- 想定最大浸水水位5.7m (GH+49.7m) に対応した防水設備

2. 混雑対策と工夫の動線配置によるやさしい施設

- 一般持込車両の動線への最大限の配慮と専用のヤード設置により混雑を解消
- 場内自動案内システム、キャッシュレス決済によるスムーズな入退場

3. エネルギー有効利用と資源循環で持続可能社会に貢献する施設

- 最高レベルの高効率エネルギー回収システム
- 一般持込受入時の選別員による分別、高純度・高回収率を実現するシステム

4. 地域の皆様に信頼され、愛される施設

- あらゆる世代に配慮した見学者設備、サーマルリサイクルと食育を結び付けた環境学習
- 周囲の環境に配慮しつつ、雄大な自然と調和するデザイン

5. 経済性に優れた施設

- オール十勝の土建JVと代表企業とで作り上げる地元経済貢献への最大化
- 手厚い財政支援と綿密なリスク管理による安定した事業運営

3 | 施設の基本数値

事業概要

事業名称 | 十勝圏複合事務組合中間処理施設整備・運営事業
 事業予定地 | 北海道帯広市西21条北4丁目5番1外11筆
 事業方式 | DBO (Design: 設計, Build: 建設, Operate: 運営) 方式
 設計・建設期間 | 事業契約締結日から令和10年3月31日までの約4年4か月間
 運営期間 | 令和10年4月1日から令和30年3月31日までの20年間
 処理規模 | 焼却処理施設: 292t/24h (146t/日×2炉)
 | 大型・不燃ごみ処理施設: 61t/日 (5h)
 処理方式 | ストーカ方式
 建築概要 | 建築面積 : 約11,870㎡
 | 延べ床面積: 約23,360㎡
 処理対象物 | 焼却処理施設: 可燃ごみ、破碎可燃物、資源残渣、肉骨粉等
 | 大型・不燃ごみ処理施設: 大型ごみ、不燃ごみ、有害ごみ等

排ガス基準値

項目	基準値
ばいじん	0.02g/Nm ³
塩化水素	100ppm
硫黄酸化物	100ppm
窒素酸化物	150ppm
ダイオキシン類	0.1ng-TEQ/Nm ³
水銀	30μg/Nm ³

※O₂12%換算値

4 | 提案の特徴

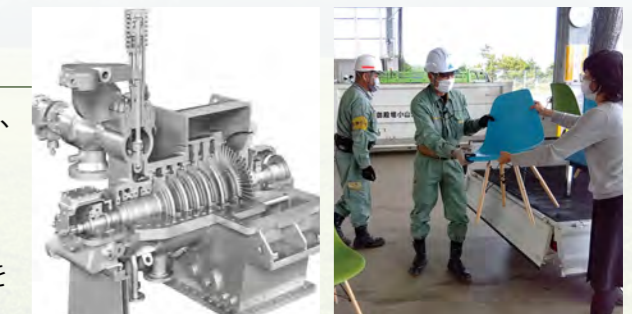
1. 安定稼働と防災対策を実現する処理システム

- 独自の高温空気燃焼技術と高性能火格子により、幅広いごみ量・ごみ質に対し安定した焼却性能を発揮
- 最先端のAI技術を活用した多重の火災検知と独自の初期消火システムにより、増加するリチウムイオン電池の火災リスクを低減
- 工場棟エリアに限定した効果的な盛土と防水シャッターなどの防水設備を組合せ、万全の浸水対策と景観への圧迫感軽減を両立



2. ゼロカーボン十勝に貢献する施設

- 国内トップクラスのエネルギー回収率、発電効率により、地域の貴重なエネルギー資源を最大限に活用し、年間売電量を最大化し、二酸化炭素排出量を大幅に削減
- リサイクル品の選別、回収、磁選機の設置による磁選物の回収、資源化により最終処分量を削減し、資源化量を最大化



3. 環境学習を促進し、にぎわいを創出する見学者設備

- 未利用で捨てられていたごみ発電の廃熱を活用した温室での野菜栽培体験を始めとし、あらゆる世代に魅力的な学習コンテンツで、ごみ処理と脱炭素や地域のエネルギー循環を実感
- 管理棟内の多目的ホール、遊び場と有機的に接続する屋外の多目的広場を活用した魅力的な多数のイベントを通じ、地域の皆様が自然と集い、にぎわう場を提供

